

被災地の今

宮城県白石市、岩手県大槌町

白石市の復旧状況

東日本大震災では、白石市でも震度6弱の強烈な揺れに見舞われました。

市民4人の尊い命が失われ、多数の公共施設や家屋が損壊し、ライフラインも断絶するなど、かつてない大きな被害を受けました。

白石市内では約5世帯に1世帯が住居に何らかの被害を受け、平成27年9月現在における白石市民の仮住まい者は7世帯20人、白石市外へ避難されている方たちも13世帯25人となっています。

白石市では、住宅再建に対する各種助成金制度などの紹介を随時行っており、被災された方への定住支援・生活再建支援に継続して取り組んでいます。

また、建物や道路など公共施設の復旧も進んでおり、平成29年3月末までに復旧する予定です。

放射能対策についても、市民生活の安全・安心を確保するとともに、風評被害を払拭するよう、空間放射線量や食品の放射能濃度の測定など

を継続して実施しています。

『復旧期』、『再生期』から『発展期』へ

白石市内では、公共施設の災害復旧もほぼ終わり、被災家屋などの解体により、市街地で空き地が増えた以外は、一見すると震災前の状態を取り戻した感もあります。

しかし、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害もあり、観光客入込数は震災前の水準までいまだ回復しておらず、被災された白石市民の皆さんの生活再建もまだ途上です。

姉妹都市である登別市民が、白石市を訪問することで、白石市の力になることができます。『復旧期』、『再生期』から『発展期』を迎える白石市を、訪れてみませんか。

※白石市の詳しい復興状況は白石市ホームページ (<http://www.city.sirai-shimiyagi.jp/section/fukkou/>) にも掲載しています。

※毎年9月上旬に開催されている幌別地区手づくり祭りでは、例年に引き続き白石市の物産品も販売される予定です。ぜひお越しください。



岩手県大槌町

東日本大震災での巨大津波により、1,200人以上の方が犠牲となった大槌町。復興に向けて着実に歩んでいます。

NHKの人形劇『ひょっこりひょうたん島』のモデルとなった蓬萊島や、特産の鮭など魅力いっぱいです。

ぜひ皆さんも大槌町へ足を運んでみませんか？



現在



震災直後



▲震災で1メートル以上隆起したマンホール（右）も元通りに復旧（左） [写真提供 白石市]